

甲骨殘存

馬宗鄉



甲 亥 亥

甲 亥 亥

二十八年十一月毅公自題



甲骨發存序

甲骨刻辭者殷商一代卜貞之辭也殷人尙鬼其俗重卜甲之廣可盈尺用之于卜者以百數刻貞辭焉占其諛否故一甲之辭多至數百字自商之亡去今數千禩古代史藉存者絕稀後人因感于文獻不足始資以考古卜辭所以見重于世者以此然甲骨爲物其質脆弱沈埋旣久掘采不慎易致損折以故近年出土之卜辭雖多什九皆殘泐之片求其完好無缺者稀若星鳳夫欲据卜辭以訂正古史必當綜合比較觀其會通而後考證之功始有所施乃若殘泐之版片辭隻字董理殊難此所以發合卜辭視著錄爲尤要焉乙亥丙子之間余方從事于契學時秀水唐氏立厂亦有契合編之輯當囑余共取卜辭一版而折成數片者爲之發合草稿未定而時事日艱唐氏乃南遊粵滇此事遂廢意當世之士必有爲之者而尙未遇也曾君毅公肇治契學有年矣戊寅春自魯來平獲與訂交各出所業互相印可欸曲盡懽未幾君復返魯別三年不復相見然余先後讀君所著地名通檢續編校記諸書未常不爲之神往也比得君書復以新著之甲骨發

存囑序斯編彙合已折之卜辭七十餘事諸家所藏搜采略備是唐氏與余謀輯之數年而未成者君今竟獨力成之讀之而心憲可知矣自甲骨出土以來訖今方四十年上虞羅氏爲之甄錄海甯王氏爲之考釋于是學者景從蔚成風氣及丁丑之變作師友星散剏獲新著闐然無聞莊周云逃空虛者聞人足音蹵然而喜矣余悲夫老成之凋零而自感學殖日荒展讀君書又烏能已于言乎庚辰六月孫海波敬題

甲骨發存自序

丙子之夏明子宜師 J. M. Menzies. 返國良師遽別請繼以爲學之道師乃詔毅曰甲骨

出土洹濱今且三十餘載鐵雲籀高啓其先河匄廬靜庵發其枕祕功等鑿空絕學斯顯時賢碩彥率有名篇契學昌明於焉略備起例發凡固彬彬乎其盛矣分條鑽索尙有待于將來若子商之譜系人地之考徵甲骨之斷代卜法之推究詞類之比勘殘片之彙合凡此犖犖其尤著者苟能勤事勘掣會通比較則殷商文獻其有補乎余雖從事斯業積稿盈篋然增益修補殺青有待按師有商帝系世族譜卜辭彙考諸作甲骨斷代於戊辰（民國十七年）前已有發明殘片彙合齊大季刊第二期曾發表一分其有意乎當共勉之毅獲教之餘數年來未敢或忘然賦性愚闇且慚末學雖有造述未能自信獨學寡偶請益無從旣憂患之頻頻且感室家之多累時作時輟所業幾廢是則內忤於心而尤慚乎明教者也今發存排比將次完成謹記師說用誌緣起云爾時民國二十八年歲次己卯冬十一月曾毅公識

凡例

一 本書彙合甲骨拓本凡七十餘事按時代前後排比不以類從於每片標明號數並於號數之下注明殘片出自某書某卷某葉某片其書名版本略稱述之如次

鐵雲藏龜

劉鶚

抱殘守缺齋本

藏龜

鐵雲藏龜拾遺

葉玉森

五鳳硯齋本

拾遺

鐵雲藏龜零拾

李旦丘

孔德圖書館本

零拾

戩壽堂殷虛文字

姬佛陀

藝術叢書本

戩壽

殷虛書契前編

羅振玉

永慕園本

前編

殷虛書契後編

羅振玉

藝術叢書本

後編

殷虛書契續編

羅振玉

殷禮在斯堂本

續編

殷虛書契菁華

羅振玉

匋廬本

菁華

簠室殷契徵文

王襄

天津博物院本

簠室

龜甲獸骨文字

林泰輔

商周遺文會本

林氏

殷虛卜辭

明義士

自印本

明氏

燕京大學殷契卜辭

容庚

哈佛燕京社本

燕京

殷契佚存

商承祚

金陵大學本

佚存

卜辭通纂

郭沫若

文求堂本

通纂

殷契粹編

郭沫若

文求堂本

粹編

甲骨文錄

孫海波

河南通志館本

文錄

一 卜辭釋文於每版中辭非一段者則分條釋之有卜日者以卜日先後爲次無卜日者則自下而上如有闕文能確知所闕若干則用□以識之知其所闕何字者於□下以小字注出不能知所闕若干者用○以識之每行之末則識以•其殘闕過甚及不能解者則以每行爲一段

一 發合工作瑣碎難御粗心如余自知掛一漏萬苟有所得自當增補世之宏達時匡不逮則幸甚矣

一 所用拓本承友好慨借影副海波先生寵以序文統此致謝

甲骨發存

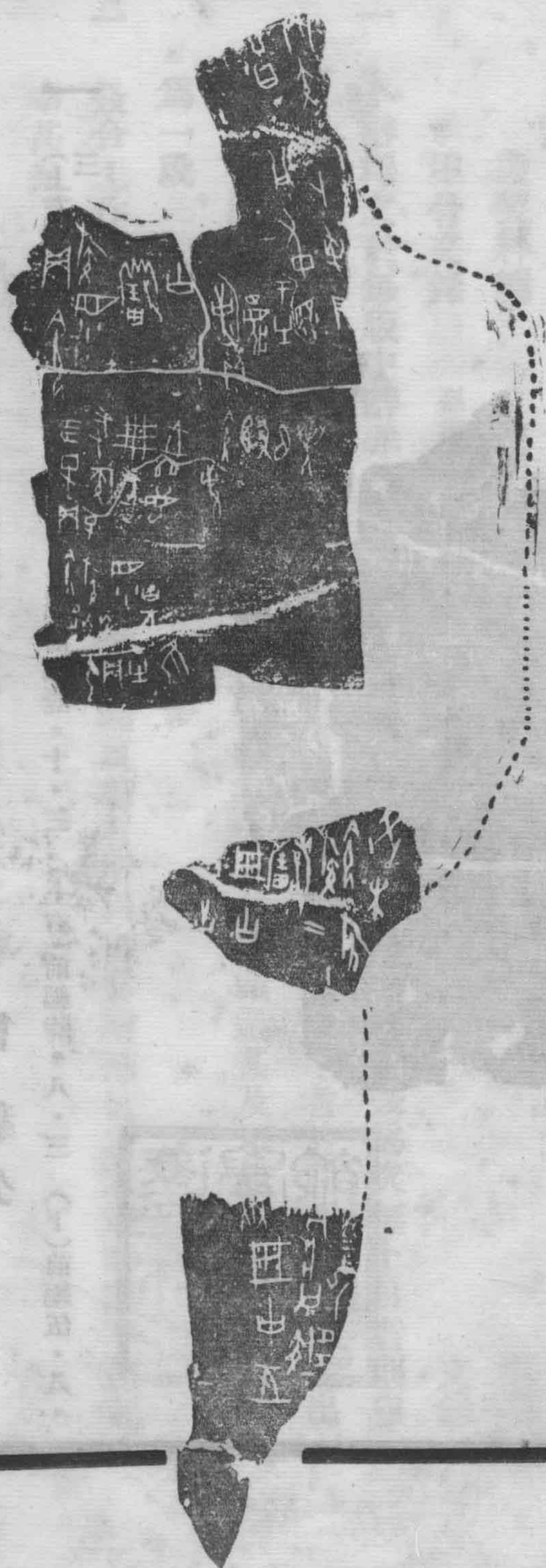


曾毅公

一
三 (上左) 後編下·十三·十五 (上中) 前編壹·十·三 (上右) 前編陸·八·三 (下) 前編伍·八·



一一 (上左) 前編伍・七・七 (上右) 前編陸・九・六 (中上) 前編陸・五一・七 (中下) 前編肆・三二
 一 (下) 燕京六四一



甲骨錄

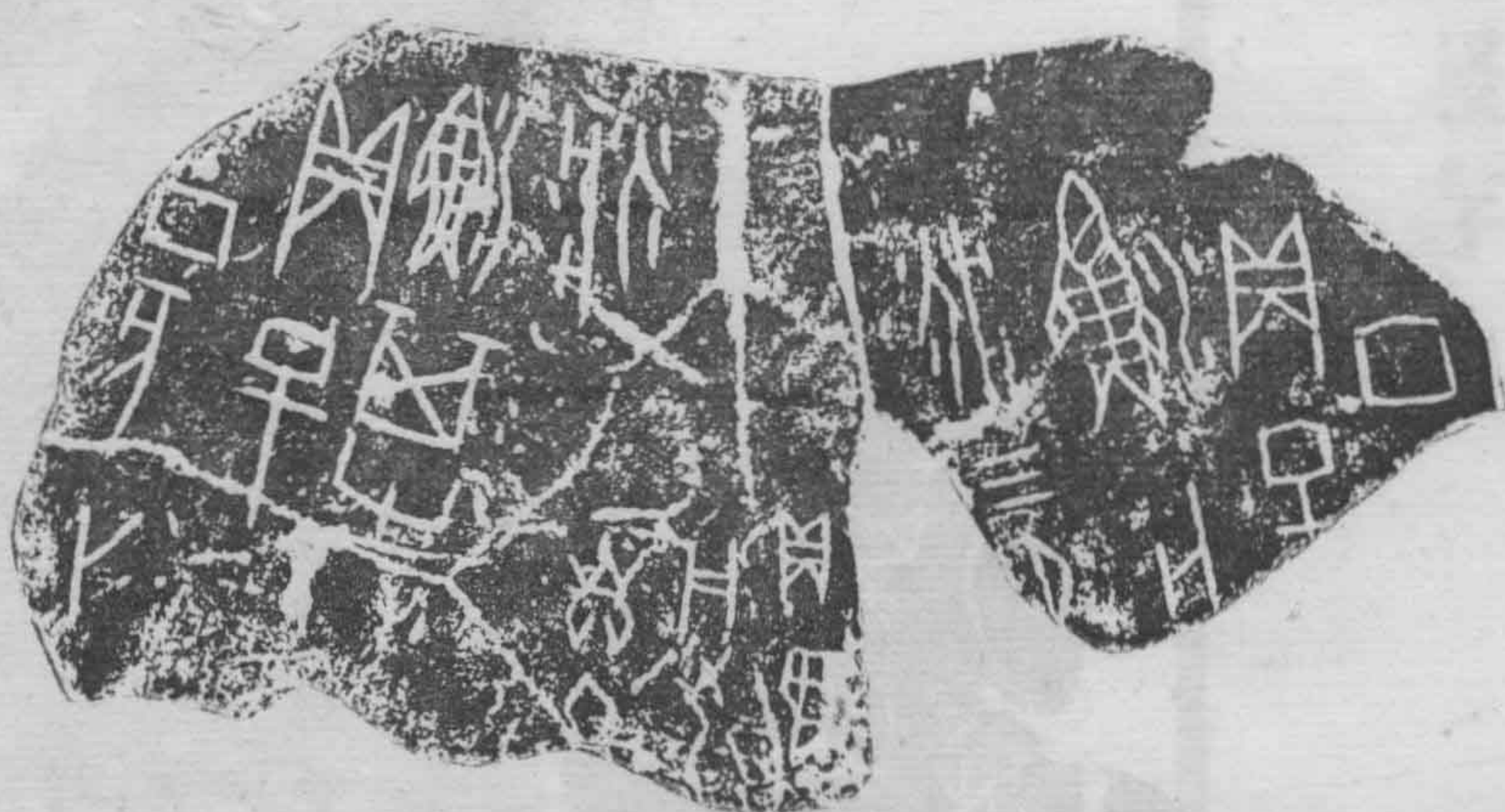
圖

圖

曾公

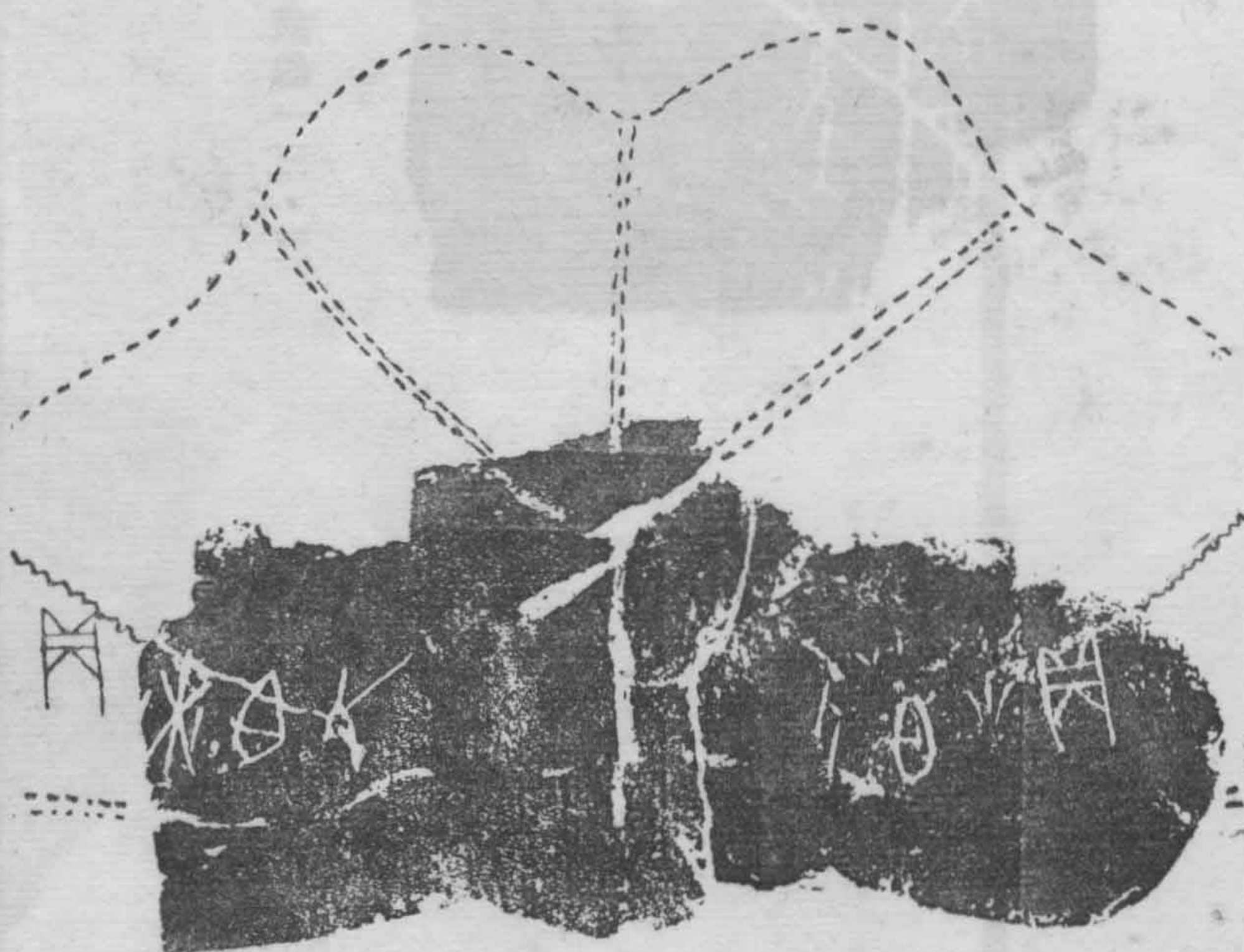
三

(右)續編叁·四七·三(簠室人名
八九)(左)前編伍·四四·二



四

(右)藏龜五三·四 (左)藏龜四三·一



五

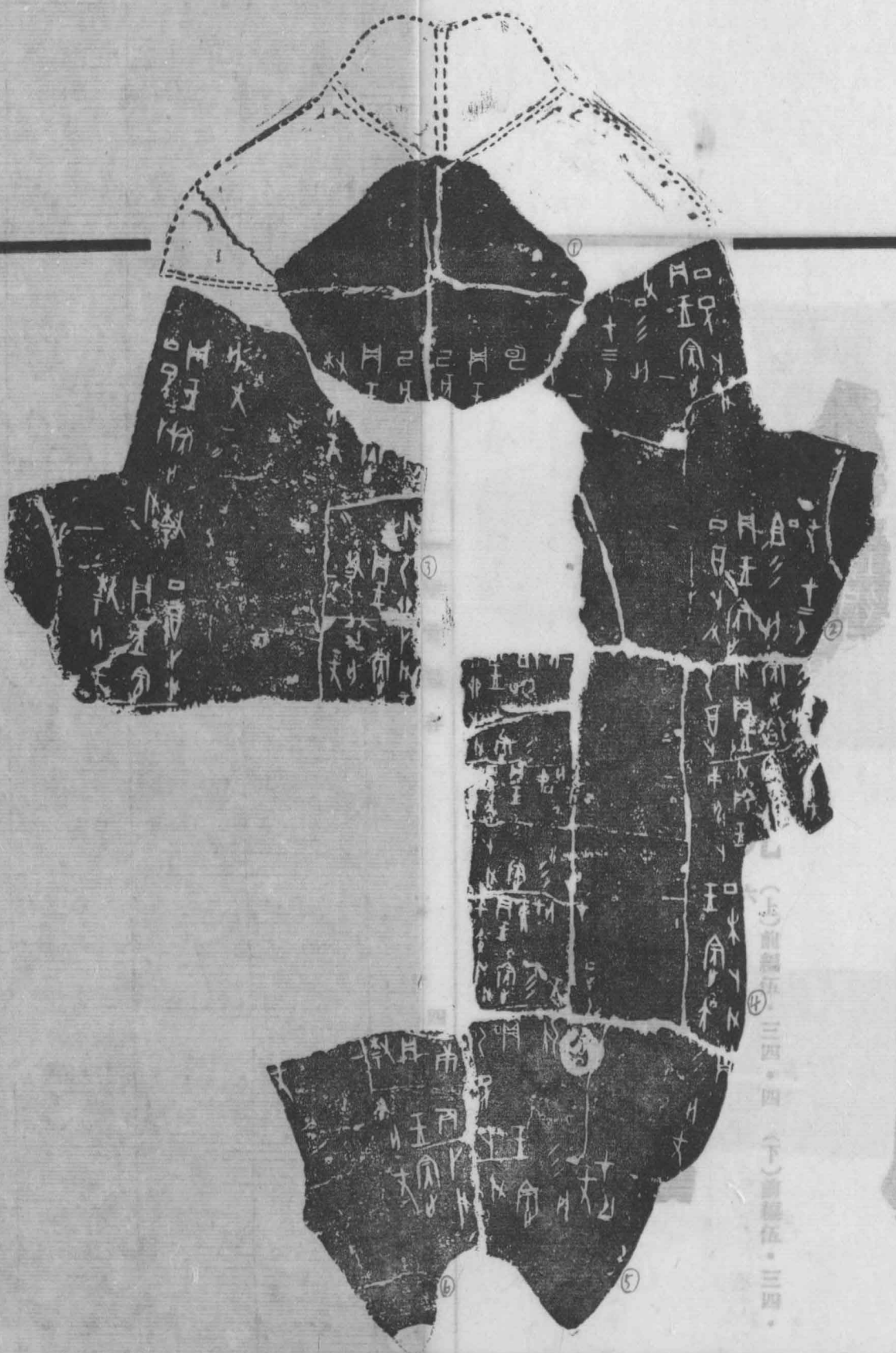
(上)藏龜六九・一 (中)藏龜一二〇・一 (下)藏龜一三・三



甲骨發存 三

八 (上) 前編伍・三四・三 (下) 前編伍・三四・

六 (中甲) 粹編二〇七^① (前右甲) 粹編三〇七^② (前左甲) 文錄四七六^③ (後右甲) 粹編一七六^④
 (尾右甲) 文錄二六八^⑤ (尾左甲) 文錄四七三^⑥



八
二
(上)前編伍・三四・三 (下)前編伍・三四・



九
六
(上)前編伍・三四・四 (下)前編伍・三四・



七
(上)零拾五六 (下)零拾八二



十

四 (上)前編壹・二一・四 (下)後編上・二五・



十一

四 (右)前編壹・一六・三 (左)前編壹・十



十二

(上)前編肆·十一·四 (下)前編貳·九
七·七



十三

(上)前編貳·十七·二 (下)前編貳·十
七·一



十四

(右)林氏貳·二三·五 (左)林氏貳·二
七·十



十五

(上)續編叁·十九·六 (下)續編叁·二
十·一



十六

(右)前編貳・三十・一
林氏貳・十八・十六

(左上角)

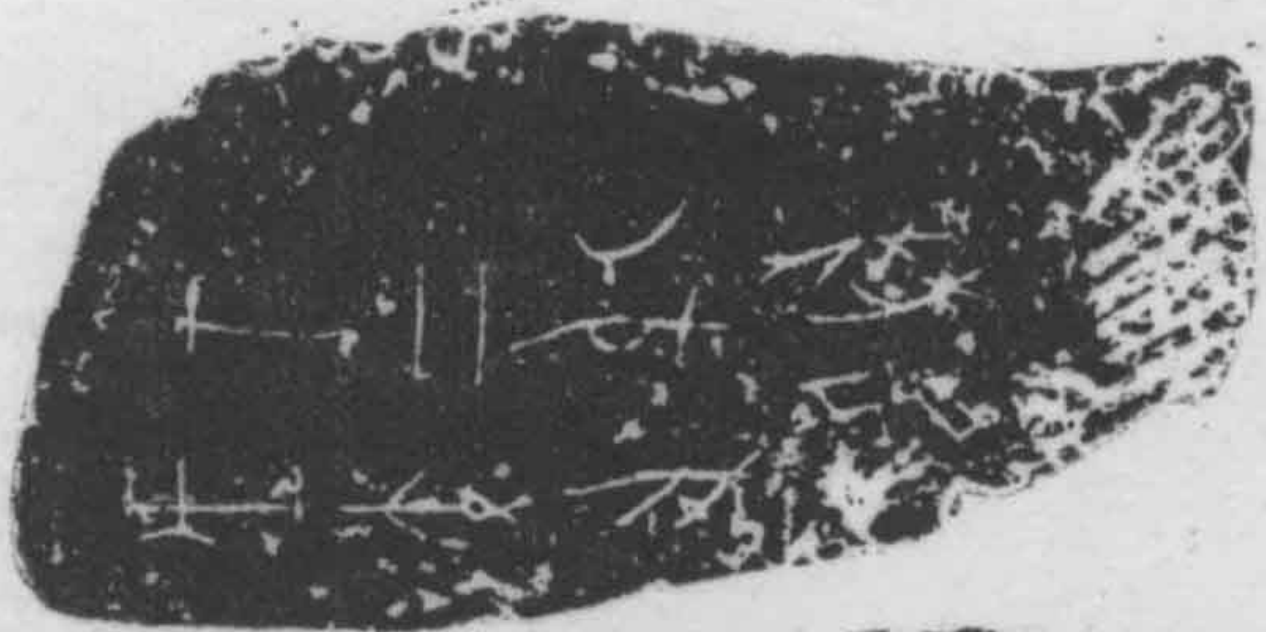


十七

(上)後編上・十二・一 (菁華十・十四重出)
(下)前編貳・二三・一



以上龜甲



十八

(上) 佚存三七九又 (中) 佚存三七九又 (下) 佚存三七九又

十八

(上) 佚存三七九又

(中) 佚存三七九又

(下) 佚存三七九又

通纂四九六(重見通)